

## 友好都市中国揚州市訪問

## 釘丸久子議員

厚木市が中国揚州市と友好都市を締結して昨年から30周年。毎年、友好交流しており、鮎まつりには揚州から厚木に来ます。土木や都市計画など技術交流もしてきました。

揚州市は、江蘇省の中部、南京の北西300kmに位置し、揚子江と大運河の交差する交通の要衝にあります。緯度は日本の九州中部と同じです。面積6658平方km、人口は約460万人の大都市です。

奈良時代、揚州の高僧・鑑真和尚が日本へ仏教の戒律を伝えるために、何回も渡航を試み、6回目でやっと日本にたどり着きました。奈良に唐招提寺を建立し、仏教の発展に貢献したことは有名です。

10月15日〜18日の日程で、厚木市議会の友好都市交流訪問団(7名)として、釘丸久子議員が揚州市を訪問しました。

初日は成田から3時間で南京空港、そこからバスで3時間で夜揚州市に到着。

2日目の最初は2015年揚州市国際友情卓球大会。揚州市の友好都市の厚木市や唐津市、スイスなど9市から選手団が来ていました。揚州の新聞によれば、最高齢者は厚木市の選手だったそうです。



卓球大会「熱烈歓迎」の看板前で

その後、揚州大学を訪問。1992年、揚州師範学院、江蘇農學院など6大学が統合して現在の揚州大学となりました。7カ所のキャンパスは

市中心部にあり、広大な土地にゆったりと建てられています。学部は76、学生は1万6千人で、機械工学や車、医療環境、観光など揚州市や企業の要請に応じて学部を作り、産学官の共同であることを強調していました。

日本語学部の学生と意見交換会。日本に留学したことのある学生が何人もいて、日本の印象を「日本人は礼儀正しい」「自分は方向音痴で、道に迷った時大変親切に教えてくれた」「日本はきれいで、水が安心して飲めるのは素晴らしい」などと言っていました。

次は揚州職業大学の看護師養成学部を見学。若い女性たちが講師の話真剣に聞いています。年間600人の卒業生がいます。学習に必要な分婉台、新生児室など整備されています。人体の血管や骨格などが、模型ではなく死体を処理して作っていることに驚きました。

夜は、揚州市人民代表大会常務委員会主催の歓迎会です。中国の行政は、市の中に共産党委員会、人民政府、人民代表大会常務委員会と、三つの複雑な構成でそれぞれ役割が違ってくるようです。厚木市代表団からは、街が賑わっており、揚州市の発展が目覚ましいとの感想が述べられました。人代常務委員会からは更なる経済や人的交流を望んでいることが語られました。繊細な揚州料理と中国のお酒を楽しみました。

## 3日目は揚州市内視察。

鑑真の大明寺は中国人参拝客で溢れていました。修僧がお経を唱えながら境内を歩いていました。説大明寺の修僧



大明寺の修僧

明板は中国語・英語と併せて日本語でも書かれています。他所には日本語解説がなかったもので、日本との関わりが深さが感じられました。

## 次が公園。

今のは竹の象形文字。公園の特徴は竹の美しさ。四季の景です。それぞれ季節に合った趣をしつらえています。

## 最後の公

式訪問は、揚州市青少年活動センター。今年が揚州市建城2500

年です。記念して広大な敷地に青少年のための施設を建設しています。見学したのは、中国の伝統技術を継承するための施設でしたが、このほかに科学館など4棟を建設。利用はほとんど無料であり、青少年育成に力を入れていることがよくわかります。地下にショッピングセンターを誘致してさらに集客を図るといいます。

## 夜は、日中友好コンサート。

ト。日本と中国の男性の独唱音楽会。「荒城の月」や「千の風になって」等が披露され、会場の揚州市音楽庁(文化芸術センター)は満員でした。民間による日中友好が行われているのを感じました。

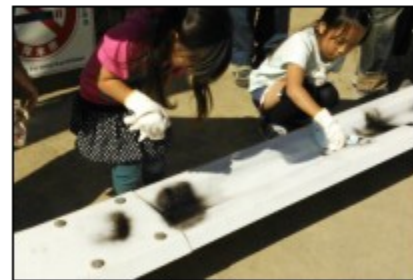
その後、バスで移動し、南京のホテル着は夜11時過ぎ。次の日早く南京発で、成田に帰ってきました。

5年ぶりの揚州市訪問でした。この間の揚州市の発展、

## 話題あれこれ

## 『あつぎから地球へ』あつぎ環境フェア

10月25日(日)、秋晴れの下、厚木中央公園で2015あつぎ環境フェアが開催されました。また、ごみ減量リサイクル標語・ポスター、ごみ収集車イメージアップ絵画、動物愛護ポスター、みどりのカーテングランプリの表彰も行われました。ごみ減量標語・ポスターは1373点が、ごみ収集車ポスターには408点の応募がありました。



ガイドレールの落書きを消す子どもたち

市内のエコスクールや神奈川工科大のE.C.O.チーム、微生物を顕微鏡で見ようなど30余りのブースで団体の活動を紹介していました。市民ふれあいマーケット、古本やリサイクル自転車販売では多くの人が掘り出し物を捜しています。太陽光発電、ソーラークーラーの展示・実演もあり、参加者に「エコ」を考えさせる環境フェアでした。

ごみ減量リサイクル標語の一部を紹介します。ごみへらす たべるぶんだけ おかいもの出す前に かくにんしよう 今日のゴミ いりません その一言で ごみ減量



電動バイクの充電場所

変貌ぶりに目を見張るものがありました。高層の建物が大変多くなりました。高速道路と揚子江を渡る大橋の開通により交通網が飛躍的に発展したといえます。5年前は自転車が多かったのに、今回は電動バイクが主流で、3人乗りどころか4人5人も乗っていてびっくりです。コンビニに充電場所がありました。

しかし、生水が飲めないことと、水洗トイレがあっても紙が流せないのは変わりありませんでした。

テレビや新聞などの報道だけでなく、現地に行くことで様子がわかることがあると実感した訪問でした。